

『まめ記者クラブ』



7月21日、伊和新聞の元記者・千種さんと長岡造形大学の山口先生の指導のもと、英心高校の生徒3名、年長の男の子とお母さん、中学生の女の子が取材テーマを決定しました。高校生は花火、男の子は昆虫と恐竜、女の子は動画制作現場を選びました。高校生は同26日、名張川納涼花火大会の準備現場を訪れ、花火師・脇坂さんから打ち上げの仕組みを学びました。8月6日には蔵持市民センターで記事作成の打ち合わせを行い、8月26日に原稿を持ち寄って編集をしました。男の子は上野森林公园と三重県総合博物館へ、中学生はアドバンスコーポへそれぞれ取材に行きました。取材の結果はまとめて記事にしていく予定です。

8/9『にじみ絵ワーク』

保育士・樺谷りえさんのにじみ絵ワークでは、赤・黄・青の絵の具が紙ににじみ、虹や花がふんわり浮かぶ様子にみんな夢中。色が混ざる楽しさに笑顔が広がりました。



8/24『筆文字体験』・『ダーニング体験』

坂地香楓さんによる筆文字体験では、大きな模造紙に自由に筆を走らせ、参加者の笑顔があふれました。澤山幸代さんのダーニング体験では、色とりどりの刺繡糸で可愛らしい作品を仕上げ、小さな額に入れて持ち帰る喜びも。どちらも創作の楽しさと温かい交流に満ちたひとときとなりました。



先月行われた三枝堂分店の萩森さんを講師に迎えた篆刻（てんこく）教室が、好評につき主催講座としては、初めての追加開催が9日(土)に行われ 15名の方が落款印づくりに勤しみました。前回とはまた違った雰囲気で、今回は皆さん談笑しながらの落款印づくりでした。丁寧に一彫一彫に入魂して彫る人、一人で2つ彫る人、前回からデザインを変えてこだわりの落款印を作り上げる人、皆さん、様々なスタイルで楽しみました。



21日(木)、ちいしかけんの水谷祐哉さんを講師に、出前講座で回想法が行われました。

写真や映像、夏の思い出などを振り返ったり、過去を思い起こしたりしながら、思いつくままに付箋に書いて貼り付け、グループで思い出を分かち合い喜びや満足感を感じて頂きました。気持ちの安定やコミュニケーションの活性化に繋がる“青春”の追憶や人生の1ページを語り合ったり、めんこなど懐かしい遊びに興じたり、皆さんの笑顔の時間となりました。

◎9月25日(木)蔵持市民センターの出張高齢者学級として、水谷さんによる「回想法」の開催を緑が丘のグリーンサロン内で予定しております。緑が丘の皆さまは奮ってご参加ください。